

インフォメーションミーティング

「資料編」

2013年11月26日



## 目 次

	ページ		ページ
全国に占める三重県のウエート	... 1	三重県経済のポテンシャル	... 14
県民の豊かさ	... 2	将来を見据えた三重県の施策	... 16
給与水準の高さ	... 3	三重県内金融機関の状況	... 17
住宅着工戸数の推移	... 4	預金内訳	... 18
公示地価の推移	... 5	貸出金内訳	... 19
三重県の経済圏の特徴	... 6	諸指標の推移	... 20
交通インフラ整備動向	... 7	統合リスク管理	... 21
三重県および北勢地域の産業構造	... 8	自己査定債務者区分遷移状況	... 22
製造業構成と生産動向	... 9		
三重県下の主な大型投資	... 10		
三重県の地域別経済水準	... 11		
地元雇用情勢（有効求人倍率）	... 12		
地域別にみた三重県の観光動向	... 13		

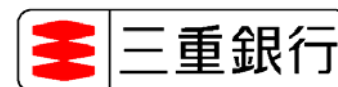
【本件に関するご照会先】

三重銀行 総合企画部 山下

TEL 059-354-7172 FAX 059-355-8225

E-mail koho@miebank.co.jp

# 全国に占める三重県のウエート



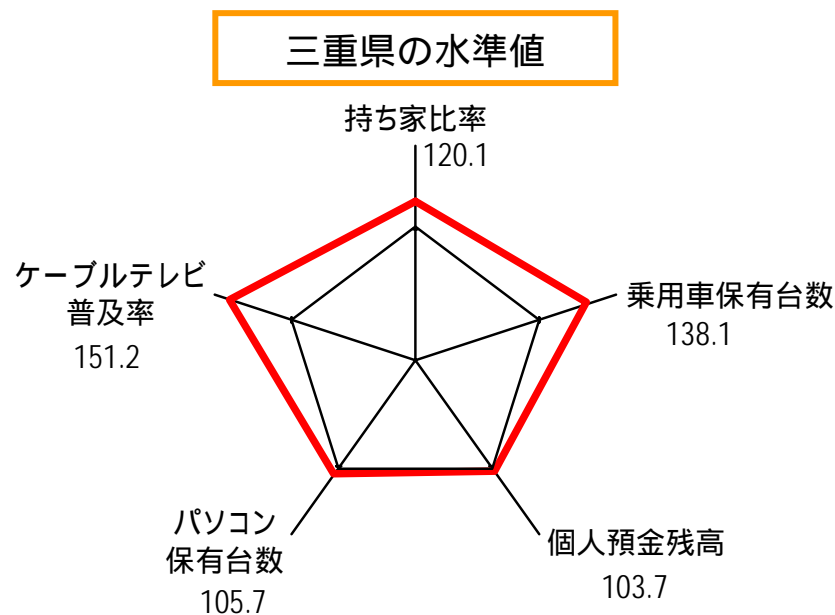
- ▶人口、面積等の基礎的指標において、三重県が全国に占めるウエートは1.5%程度。
- ▶製造品出荷額等のウエートは3.5% (全国9位) と、他の指標と比べ高くなっている。

項目	経済圏					統計名 年次	
	全国	東海	愛知県	岐阜県	三重県		
総面積(Km <sup>2</sup> )	377,950	21,563	5,165	10,621	25位	5,777	「国勢調査」 2010年
構成比(%)	100.0	5.7	1.4	2.8		1.5	
人口(千人)	128,057	11,346	7,411	2,081	22位	1,855	「国勢調査」 2010年
構成比(%)	100.0	8.9	5.8	1.6		1.4	
就業者数(千人)	59,611	5,594	3,676	1,023	22位	895	「国勢調査」 2010年
構成比(%)	100.0	9.4	6.2	1.7		1.5	
民営事業所(千カ所)	5,454	498	317	102	22位	79	「経済センサス(活動調査)」 2012年
構成比(%)	100.0	9.1	5.8	1.9		1.4	
名目域内総生産(億円)	4,956,377	461,039	316,423	70,934	19位	73,681	「県民経済計算」 2010年度
構成比(%)	100.0	9.3	6.4	1.4		1.5	
小売業販売額(億円)	1,197,456	109,326	73,279	18,765	21位	17,282	「経済センサス(活動調査)」 2011年
構成比(%)	100.0	9.1	6.1	1.6		1.4	
製造品出荷額等(億円)	2,843,997	537,702	387,301	49,957	9位	100,444	「工業統計調査」 2012年
構成比(%)	100.0	18.9	13.6	1.8		3.5	

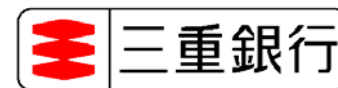
➤ 生活の基盤的ストックである持ち家、乗用車、預金等の保有水準は全国でも高く、県民の生活水準の高さを示している。

	単位	全国	三重	順位	水準値	年次
持ち家比率	%	61.9	74.3	6	120.1	2010年
乗用車保有台数(1世帯)	台	1.15	1.59	13	138.1	2013年7月末 (世帯数2010年)
個人預金残高(1世帯)	千円	8,033	8,328	8	103.7	2013年8月末 (世帯数2010年)
パソコン保有台数(1世帯)	台	1.16	1.22	8	105.7	2009年
ケーブルテレビ普及率(1世帯)	%	51.8	78.3	5	151.2	2013年3月末

(注) 水準値は全国平均を100とした場合の三重県の値

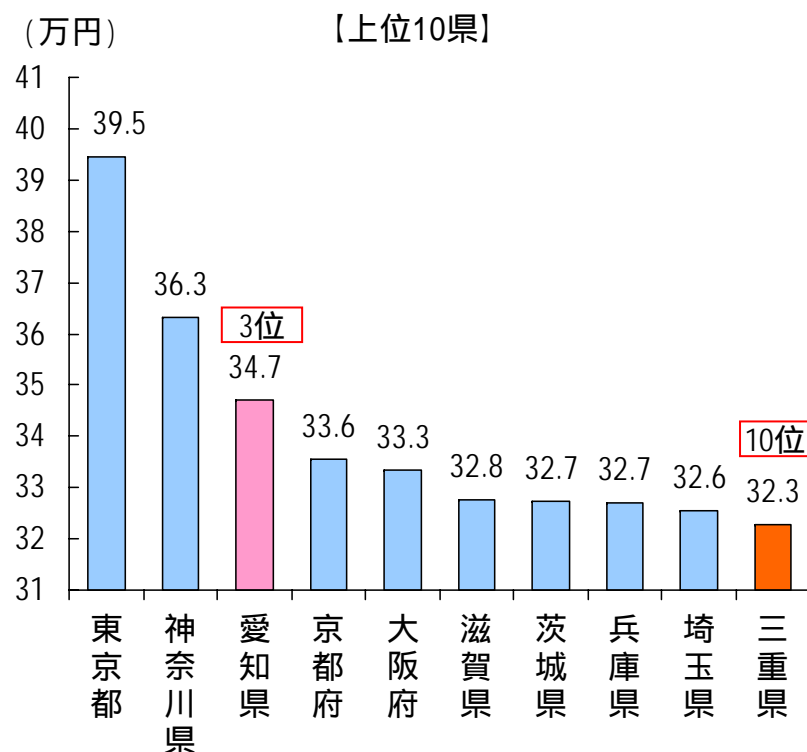


# 給与水準の高さ



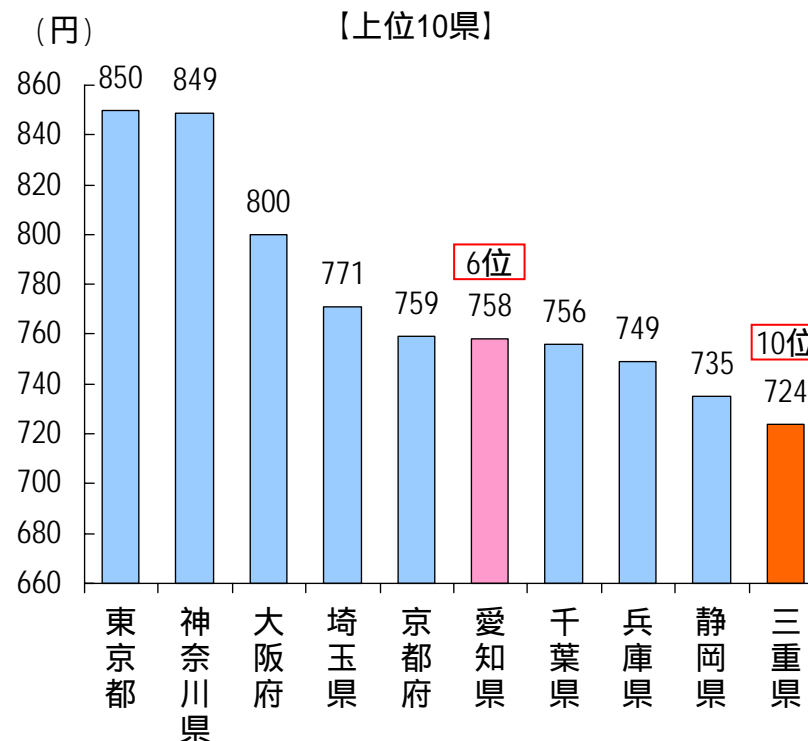
▶ 定期給与(決まって支給する給与)額の平均値は、愛知県が3位、三重県が10位と相対的に高水準。  
 さらに、最低賃金は、愛知県が6位、三重県が10位。

< 都道府県別にみた定期給与額(2012年) >



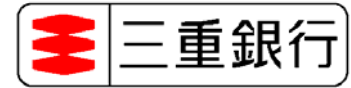
(資料)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

< 都道府県別にみた最低賃金(2012年度) >



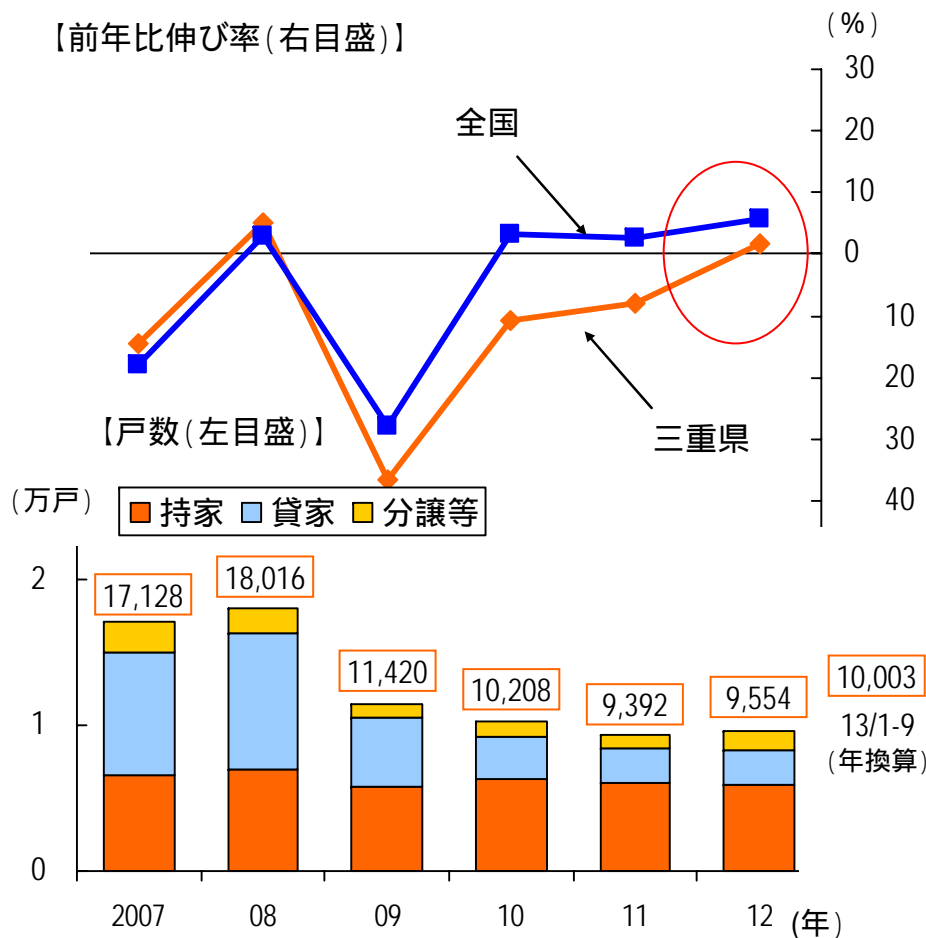
(資料)厚生労働省「地域別最低賃金」

# 住宅着工戸数の推移

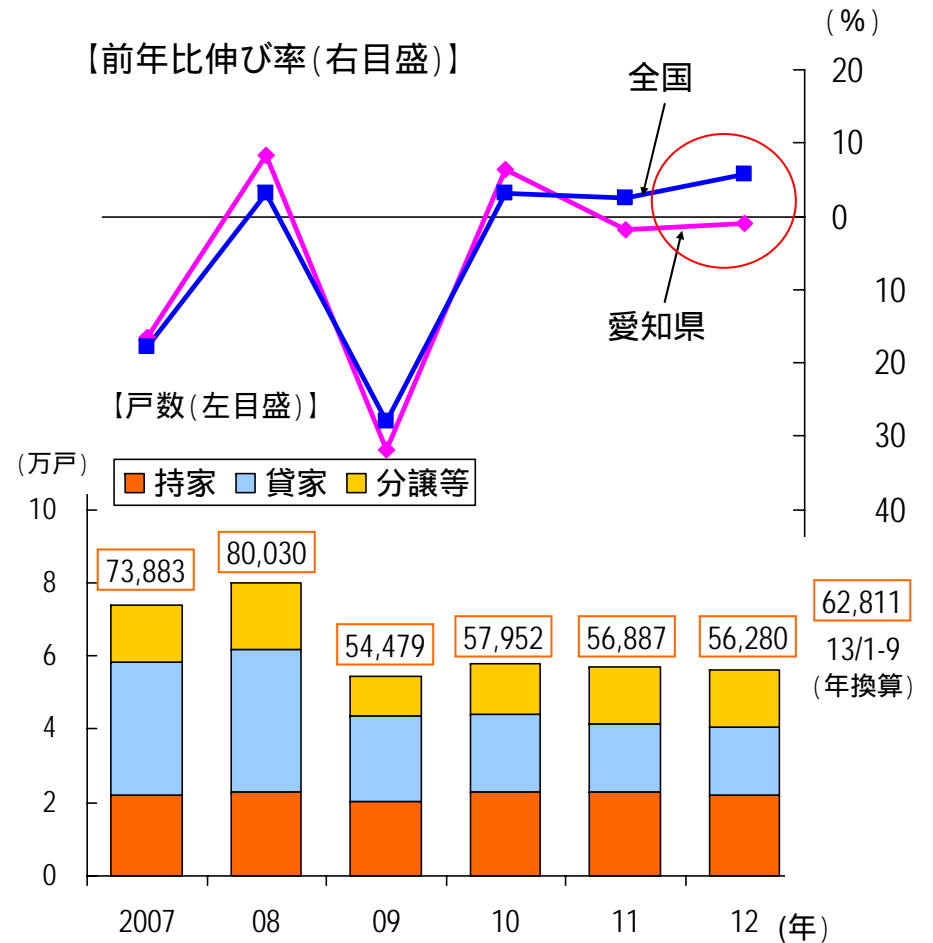


▶ 三重・愛知両県における住宅着工戸数の前年比伸び率は、足もと全国平均を下回っているが、持家は両県ともに底堅く推移。

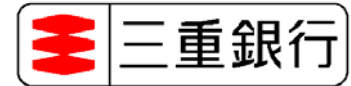
< 三重県住宅着工戸数 >



< 愛知県住宅着工戸数 >

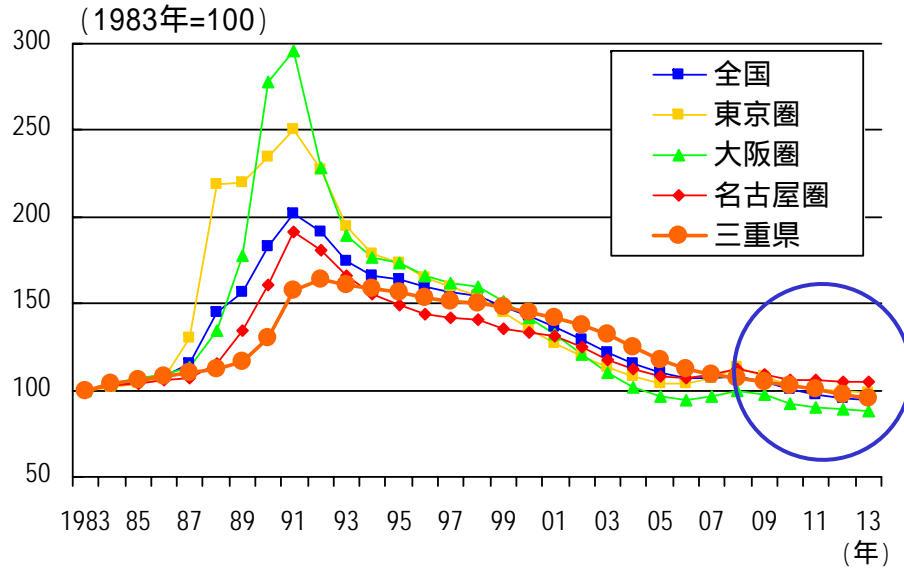


# 公示地価の推移

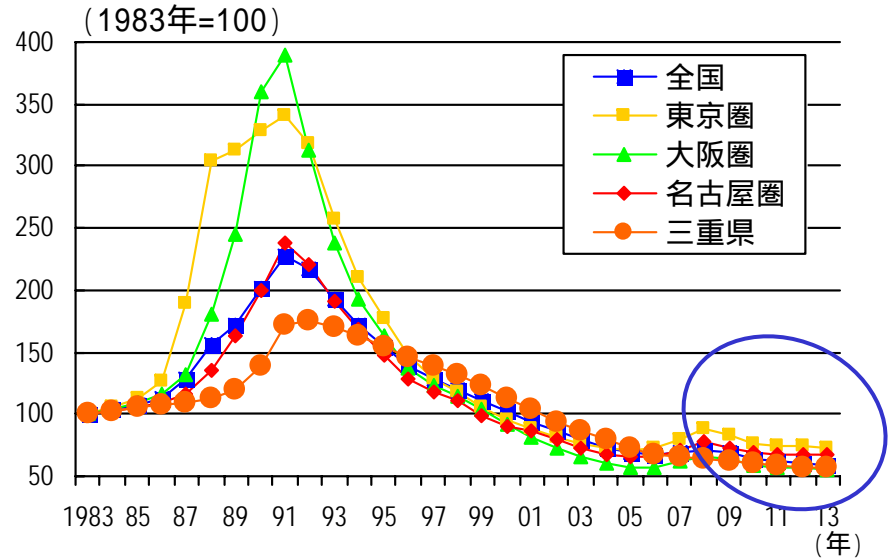


➤三重県の地価は引き続き下落基調にあるが、下落幅は縮小。

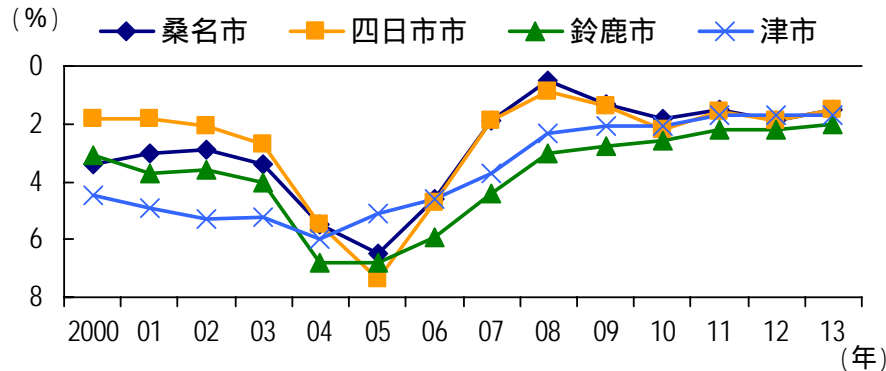
< 公示地価・住宅地 >



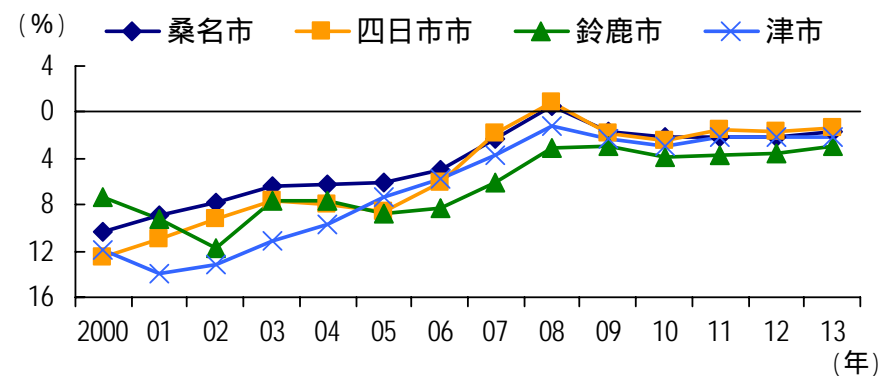
< 公示地価・商業地 >



< 三重県内主要都市の公示地価の前年比騰落率・住宅地 >

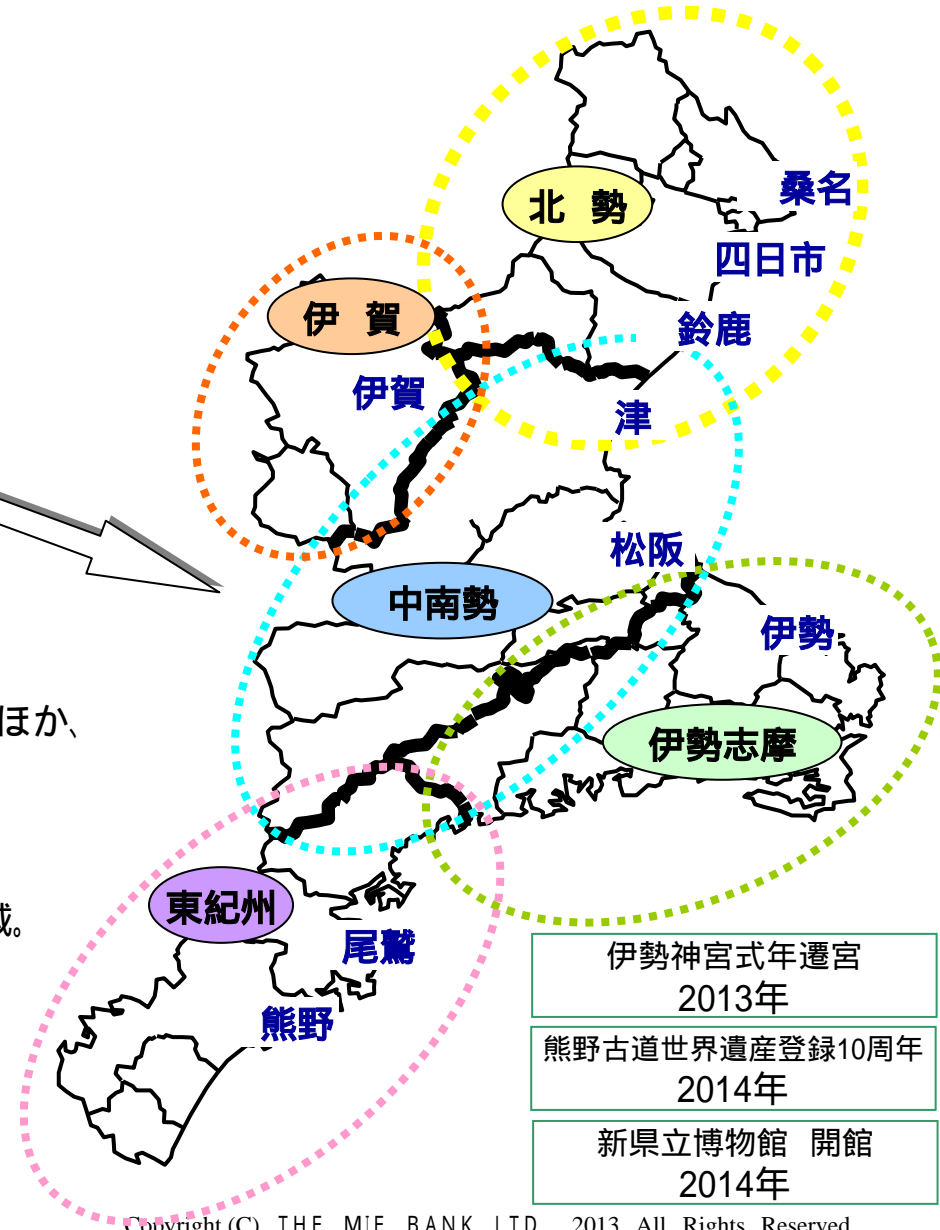
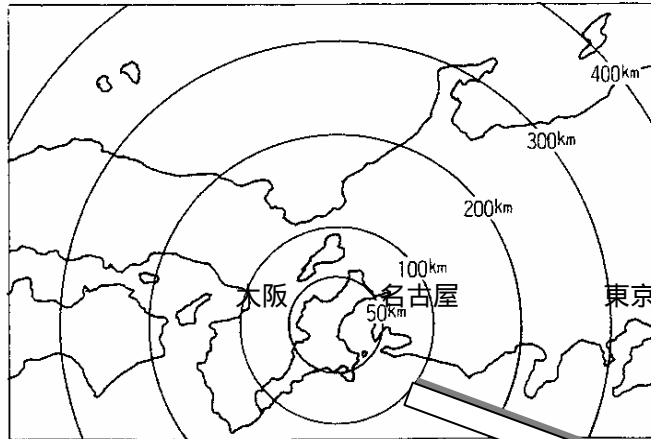
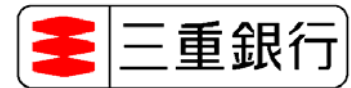


< 三重県内主要都市の公示地価の前年比騰落率・商業地 >



(資料)国土交通省「地価公示」

# 三重県の経済圏の特徴



## 北勢地域

県内経済の中心地。中京経済圏の一翼を担う。

## 中南勢地域

県庁所在地の津を中心とした公的機関の集積地であるほか、北勢に次ぐ工業地域でもある。

## 伊勢志摩地域

県内の観光中心地として県外からも広く人が集まる地域。

## 伊賀地域

大阪経済圏の一角として関西との結びつきが強い。

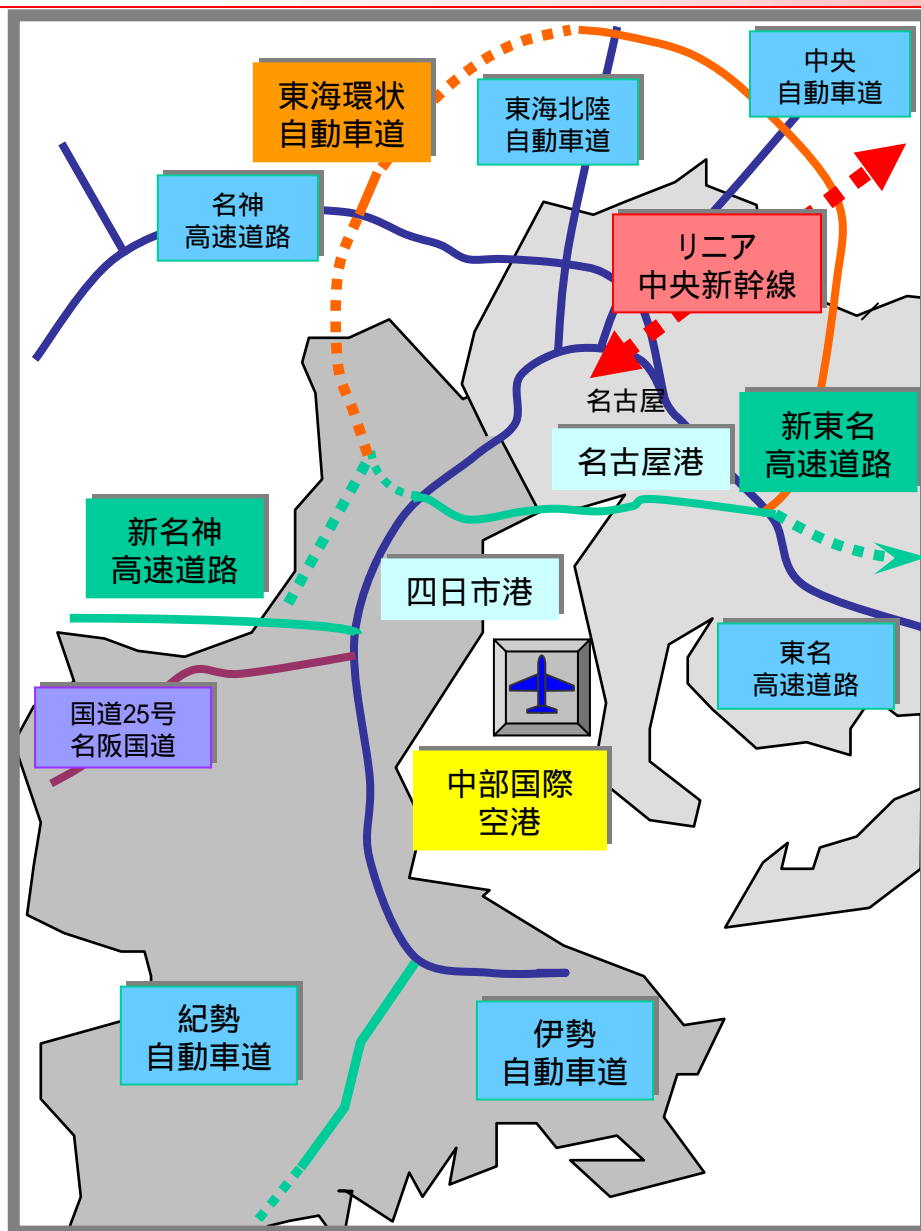
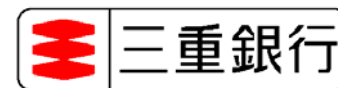
## 東紀州地域

自然、文化、歴史の地域。県内の林業漁業の中心。

- 伊勢神宮式年遷宮  
2013年
- 熊野古道世界遺産登録10周年  
2014年
- 新県立博物館 開館  
2014年



# 交通インフラ整備動向



## 新名神高速道路

亀山JCT～草津田上IC間が2008年2月に開通。  
四日市JCT～亀山西JCT間も2018年度の開通に向け建設  
中であり、東名阪自動車道の渋滞軽減が期待される。

## 東海環状自動車道

愛知・岐阜・三重を環状に結び、中部圏を一体化。2005年3  
月、豊田東JCT - 美濃関JCT間の東回りルートが開通。三  
重県側を含む西回りルートも、2020年度の全線開通を目標  
に掲げるなか、大垣西IC - 養老JCT間が2012年9月に開通。

## 紀勢自動車道

紀勢大内山IC～紀伊長島IC間が2013年3月に開通。残り区  
間である紀伊長島IC～海山IC間も、2013年度中の開通予定  
であり、県南部における観光振興が期待される。

## リニア中央新幹線

JR東海が、2027年に超電導リニア中央新幹線(東京圏-  
名古屋圏)の営業運転開始を目指すことを打ち出している。

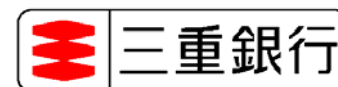
## 中部国際空港

2013年3月よりLCC(格安航空会社)が運航。航空機部品  
の輸出など、産業面においても重要な輸送拠点。

## 四日市港・名古屋港

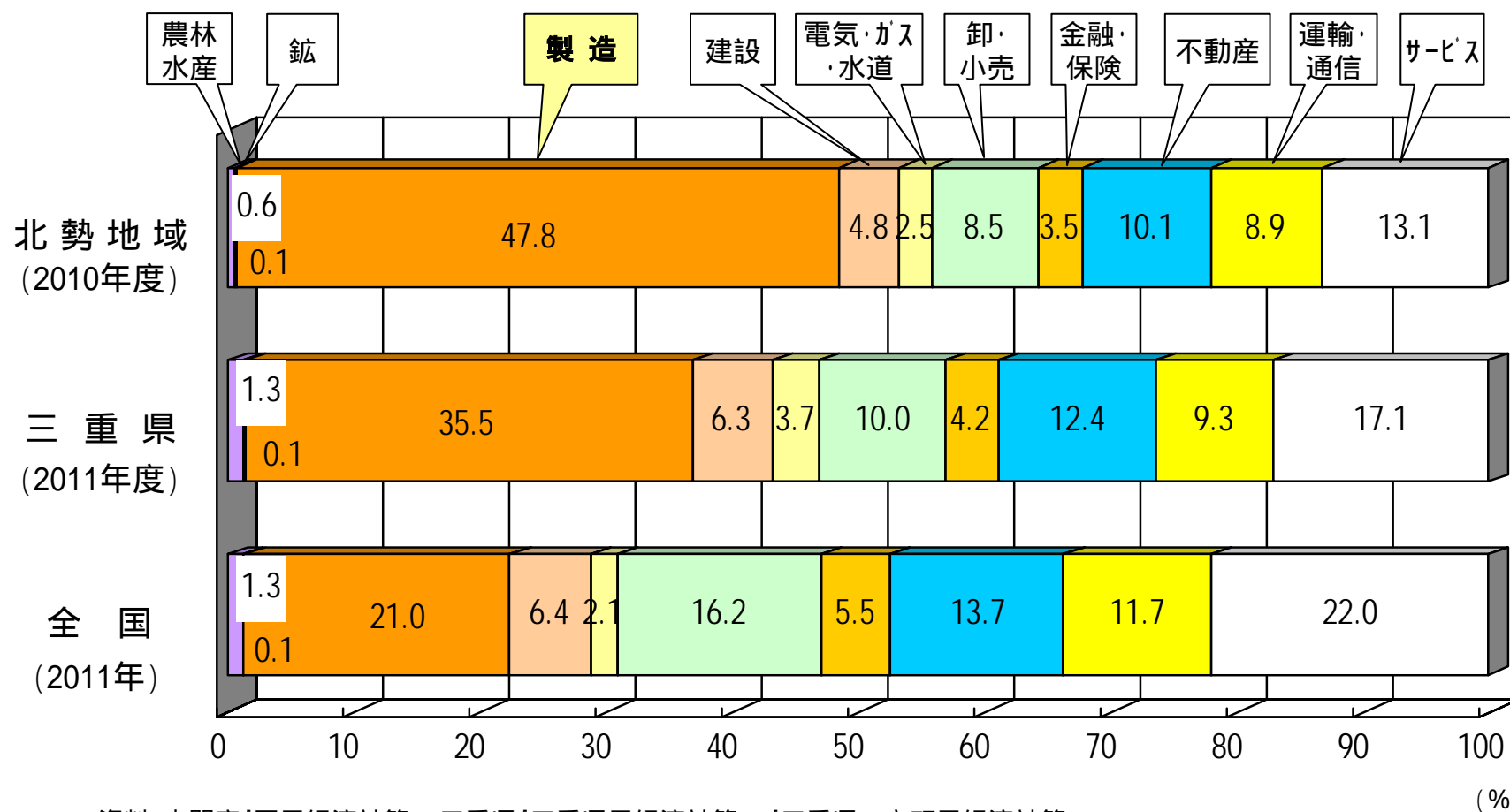
中国を始め、韓国やASEAN諸国への定期航路が開設されて  
おり、アジアの玄関口としての役割が高まっている。

# 三重県および北勢地域の産業構造



- ▶ 三重県の産業は第二次産業、とりわけ製造業中心の構造。  
当行の主力地盤である北勢地域は、県内でもさらに製造業の占めるウエートが高く、県内製造業を牽引。

< 域内総生産 業種別構成比(産業) >

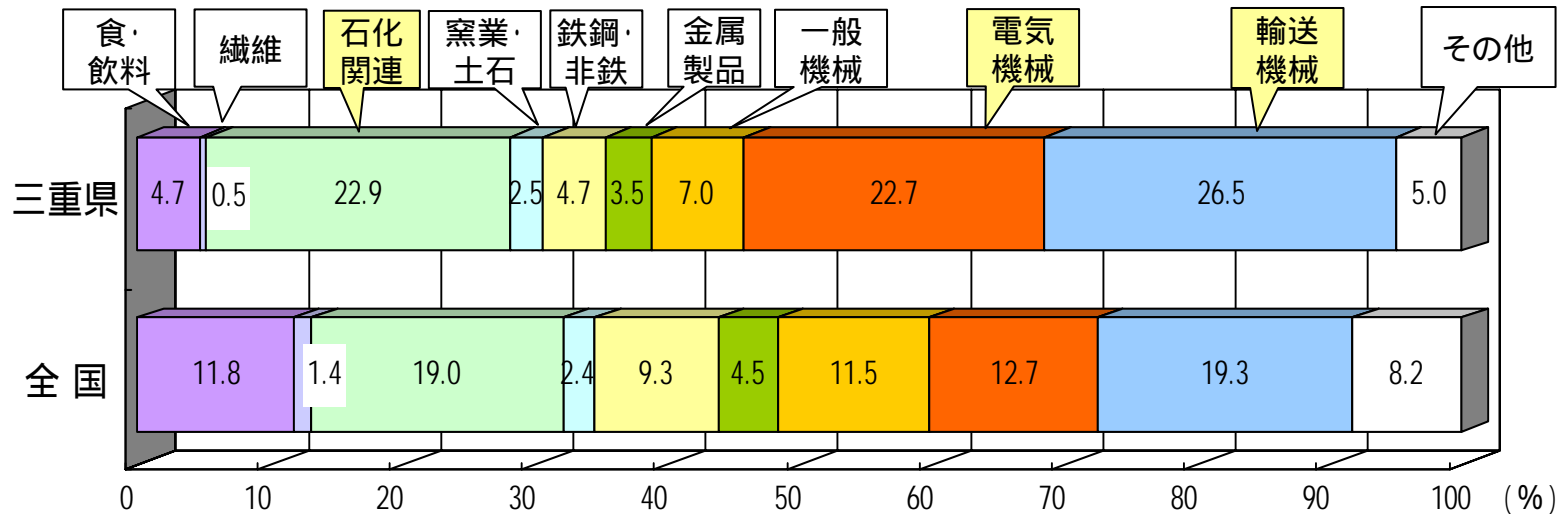


(資料)内閣府「国民経済計算」、三重県「三重県民経済計算」、「三重県の市町民経済計算」

# 製造業構成と生産動向

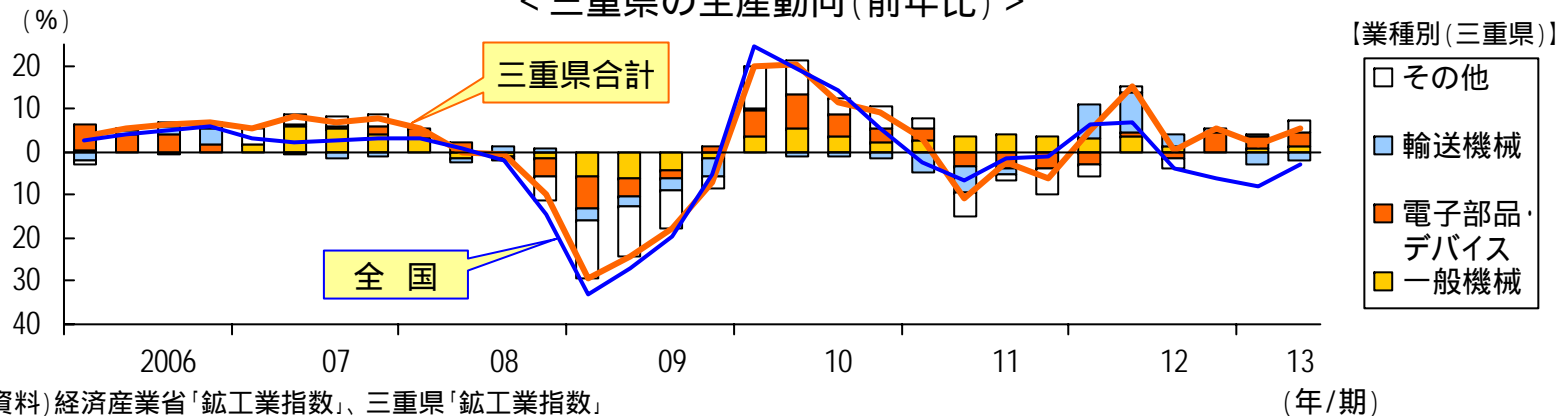
- 県内製造業出荷額は、自動車などの輸送機械や石油化学関連が比較的高い割合。
- 足もとにおける県内生産動向の前年対比増加率は、電子部品・デバイスが牽引する形で、プラスが持続。

< 三重県と全国の業種別出荷額構成比[2012年] >



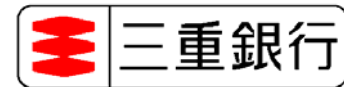
(資料) 経済産業省、三重県「工業統計調査」

< 三重県の生産動向(前年比) >



(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、三重県「鉱工業指数」

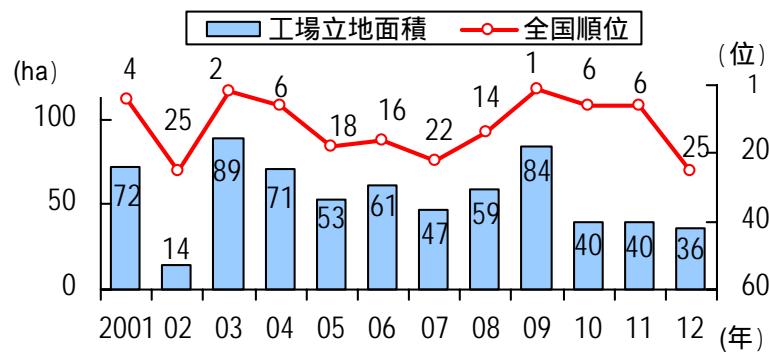
# 三重県下の主な大型投資



▶三重県における近年の主要各社の大型投資の投資総額は、電子部品・デバイス関連を中心に合計で約1兆2,000億円の規模。新規に工場を建設した立地面積は、底堅く推移。

業種	工場・設備名		投資額(億円)	稼働	備考	
電気機械	シャープ	亀山工場 亀山第1工場	1,000	2012年～	スマートフォン向け中・小型液晶製造ライン	
	東芝	四日市工場	第4製造棟	1,500	2010.4～	NAND型フラッシュメモリーの増産設備導入
			第5製造棟(第1期)	8,000( )	2011.7～	NAND型フラッシュメモリーの新工場を建設
			第5製造棟(第2期)		2014年～	高機能メモリーや3次元構造のメモリーを生産する予定
非鉄金属	三菱マテリアル	四日市工場	335	2010.8～	多結晶シリコンを製造する新プラント	
化学	クラボウ	三重工場(津市)	60	2012.4～	電子部品の関連部材の生産工場新設	
	昭和シェル石油	四日市製油所	70強	2013年度	両社の拠点間にパイプラインを新設し、原燃料を相互融通	
	三菱化学	四日市事業所				
	第一工業製薬	新工場(四日市市)				
窯業・土石製品	マグ・イソベール	津工場	150	2015年内	西日本最大級の住宅用ガラスウール工場となる予定	
生産用機械	森精機製作所	伊賀事業所	30	2012.5～	工作機械の組立を目的とした工場を増設	
輸送機械	ジェイテクト	伊賀試験場	30	2012.10～	各種走行路面を再現したテストコース	
	豊田自動織機	テストコース(亀山市)	40( )	2017年～	ハイブリッド車向けのモーターやエンジン開発	
小売	ヨドバシカメラ	物流センター(桑名市)	80	2015.11～( )	名古屋駅新ビルへの出店を控え、中部地区の物流を強化	

< 三重県の工場立地面積の推移 >



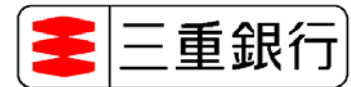
(資料) 経済産業省「工場立地動向調査」

東海三県(三重・愛知・岐阜)  
2013年度設備投資計画(前年比)  
土地投資除く

鉄鋼	+67%
電気機械	+43%
建設	+52%
不動産	2倍
小売	2倍

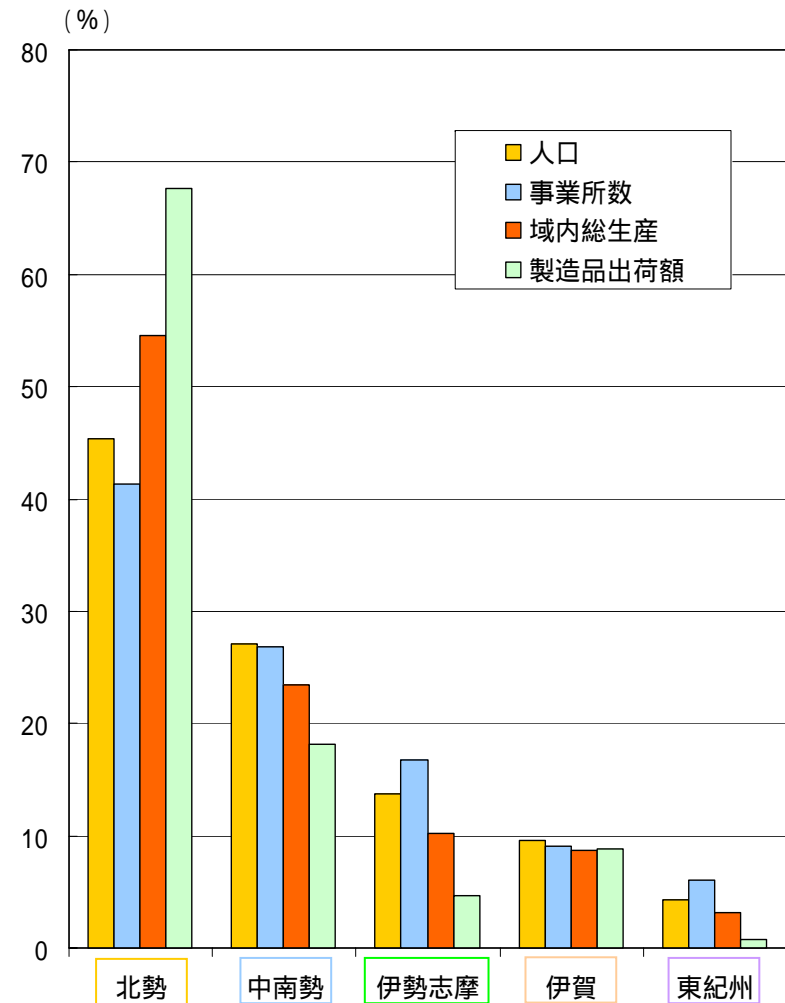
(資料) 日本銀行名古屋支店「東海三県企業短期経済観測調査」  
(2013年10月1日公表)

# 三重県の地域別経済水準

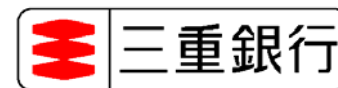


▶ 当行が基盤を置く三重県北勢地域は人口、総生産、商品販売額などで県内の4～5割、製造品出荷額等では7割弱のウエートを占めており、県内経済の中心地域となっている。

	三重県合計						資料 年次
	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州		
総面積 (Km <sup>2</sup> )	5,777	1,107	1,842	1,149	688	992	2010年
構成比 (%)	100.0	19.2	31.9	19.9	11.9	17.2	
人口 (千人)	1,855	840	502	255	177	80	2010年
構成比 (%)	100.0	45.3	27.1	13.8	9.6	4.3	
就業者数 (千人)	895	415	239	120	86	35	2010年
構成比 (%)	100.0	46.4	26.7	13.4	9.6	3.9	
民営事業所数 (千カ所)	79.1	33.0	21.2	13.2	7.0	4.6	2012年
構成比 (%)	100.0	41.7	26.9	16.7	8.9	5.9	
域内総生産 (10億円)	6,604	3,607	1,546	676	571	205	2010年度
構成比 (%)	100.0	54.6	23.4	10.2	8.7	3.1	
製造品出荷額等 (10億円)	10,044	6,997	1,557	525	894	72	2012年
構成比 (%)	100.0	69.7	15.5	5.2	8.9	0.7	
商品販売額 (10億円)	3,940	1,892	1,204	447	283	114	2007年
構成比 (%)	100.0	48.0	30.6	11.4	7.2	2.9	

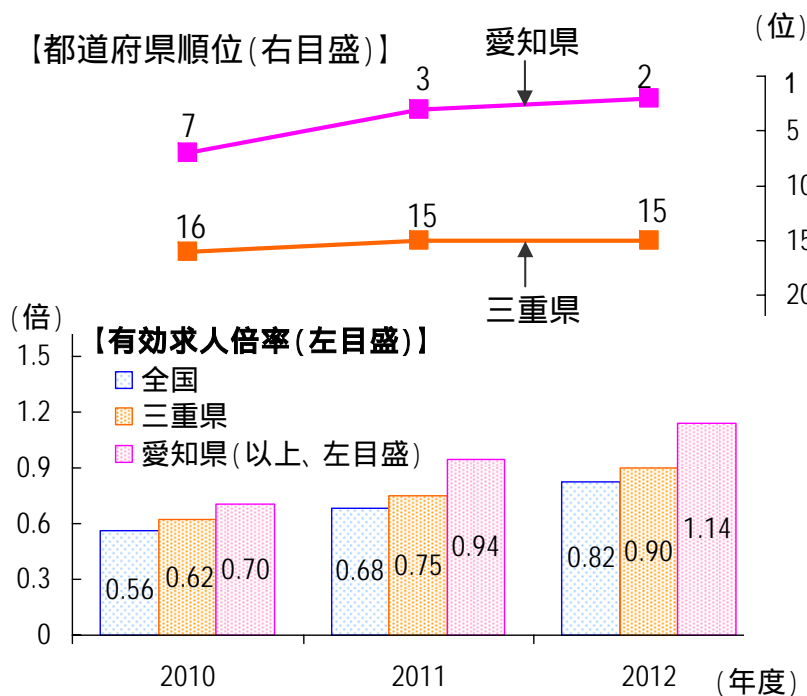


# 地元雇用情勢(有効求人倍率)



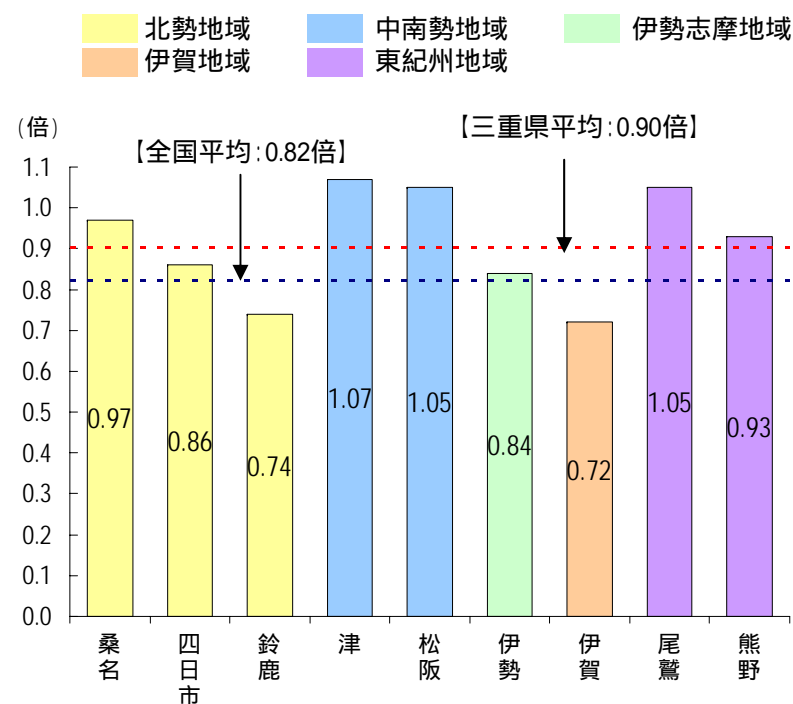
- 三重・愛知両県の有効求人倍率は全国平均を上回る水準で推移しており、都道府県順位も上位。
- 2012年度の県内有効求人倍率を地域別にみると、各地域とも堅調に推移。当行が基盤を置く北勢地域においても概ね高い水準。

< 全国・三重県・愛知県の有効求人倍率 >



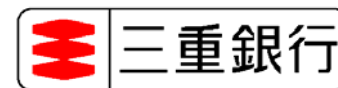
(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」

< 三重県内八ローワーク別有効求人倍率(2012年度) >



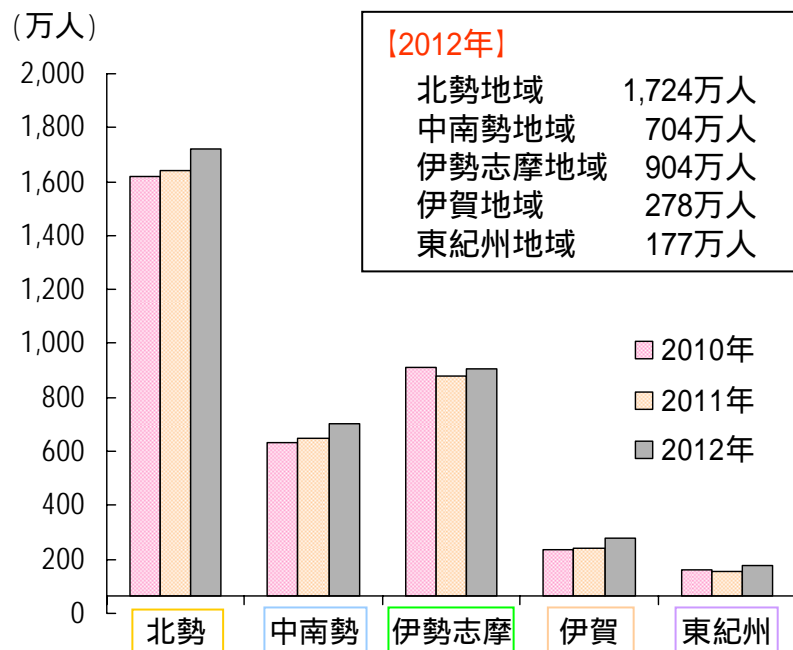
(資料)三重労働局「労働市場月報」

# 地域別にみた三重県の観光動向



- ▶ 三重県における「観光レクリエーション入込客数」は、2012年に3,786万人と前年比 + 6.2%の増加。県内5地域すべてで増加し、現在の集計方法を導入した2005年以降最多。
- ▶ 2013年10月に、伊勢神宮式年遷宮の核となる祭典「遷御」が執り行われるなか、今後も、新正殿への参拝者の増加など、伊勢志摩地域を中心に引き続き県内観光の盛り上がりへ期待。

< 地域別観光レクリエーション入込客数 >



(資料) 三重県「平成24年観光レクリエーション入込客数推計及び観光客実態調査」

< 調査地点別にみた入込客数 >  
(2012年、上位10地点)

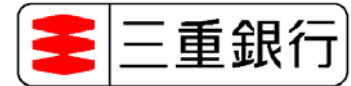
2013年は、式年遷宮効果もあり、過去最高を記録(年間で1,300万人の見込)

順位	調査地点名	入込客数	前年比
1	伊勢神宮(伊勢市)	803万人	+1.8%
2	ナガシマリゾート(桑名市)	704万人	+0.9%
3	おかげ横丁(伊勢市)	452万人	+6.6%
4	鈴鹿サーキット(鈴鹿市)	198万人	+7.9%
5	二見興玉神社(伊勢市)	183万人	0.7%
6	鳥羽市旅館街(鳥羽市)	171万人	4.0%
7	椿大神社(鈴鹿市)	142万人	+1.0%
8	多度大社(桑名市)	138万人	増減なし
9	志摩スペイン村(志摩市)	133万人	7.2%
10	湯の山温泉(菟野町)	121万人	+7.0%

(資料) 三重県「平成24年観光レクリエーション入込客数推計及び観光客実態調査」

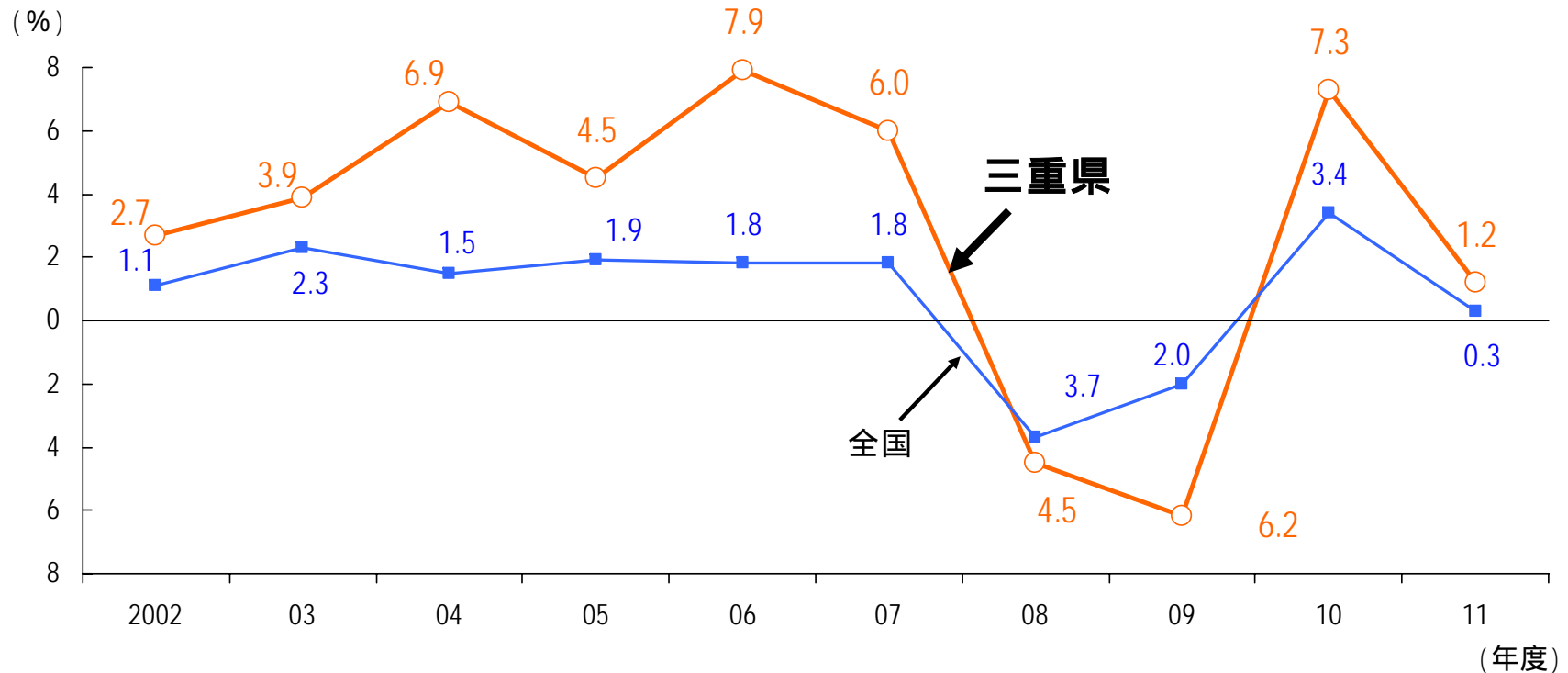
(注)      は、北勢地域内の調査地点。

# 三重県経済のポテンシャル



- 2013年3月27日に三重県が公表した「平成23年度三重県民経済計算」によると、2011年度における三重県の実質経済成長率は+1.2%。
- 製造業に、東日本大震災やタイ洪水による供給制約があったものの、電気・ガス・水道業や不動産業などの非製造業が押し上げに作用し、全体では前年度(+7.3%)に続きプラス成長に。
- 全国(+0.3%)と比べても、足もと高い水準で推移しており、三重県経済の堅調さを示す結果に。

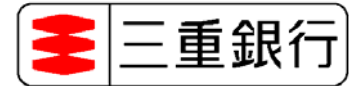
< 実質経済成長率の推移 (三重県、全国) >



(資料) 三重県「三重県民経済計算」、内閣府「国民経済計算」  
(注) 三重県、全国ともに連鎖方式による実質値。

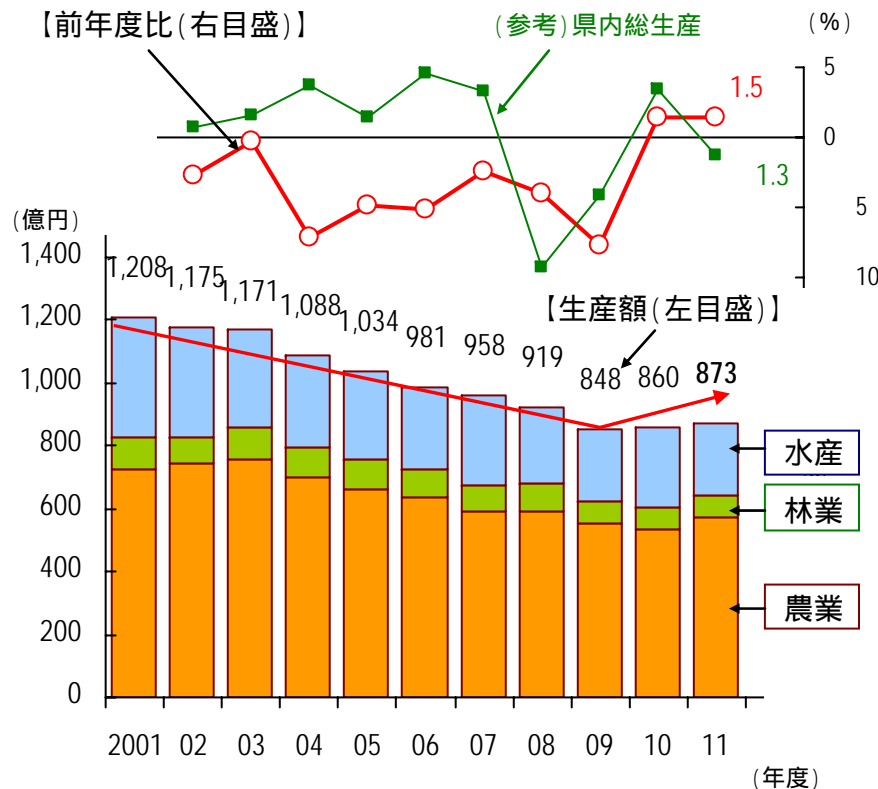


# 三重県経済のポテンシャル



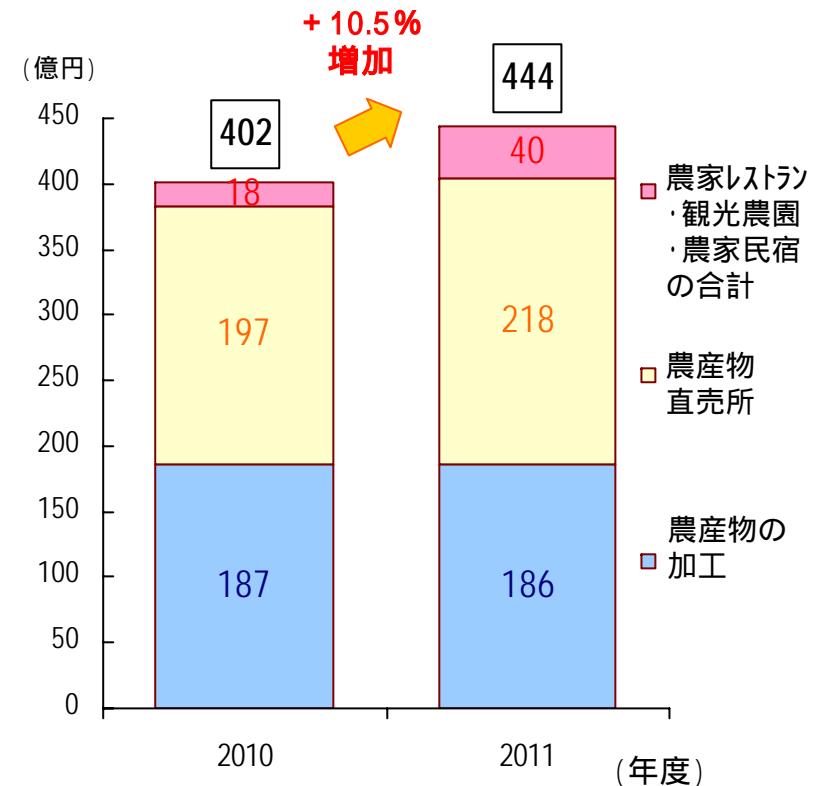
- ▶ 三重県は製造業集積地のイメージが強いが、農林水産業も今後の発展が期待される産業の一つ。
- ▶ 県内農林水産業の生産額は、足もと持ち直しの動き。
- ▶ さらに、農業関連事業の動向をみると、農家が経営するレストランや農産物直売所などの販売額が増加しており、県内農業における6次産業化の動きが活発に。

< 農林水産業の県内生産額(名目値) >



(資料) 三重県「三重県民経済計算」

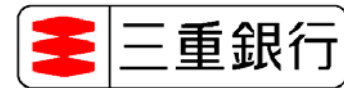
< 県内における農業生産関連事業の販売額 >



(資料) 農林水産省「6次産業化総合調査」

Copyright (C) THE MIE BANK, LTD. 2013 All Rights Reserved

# 将来を見据えた三重県の施策

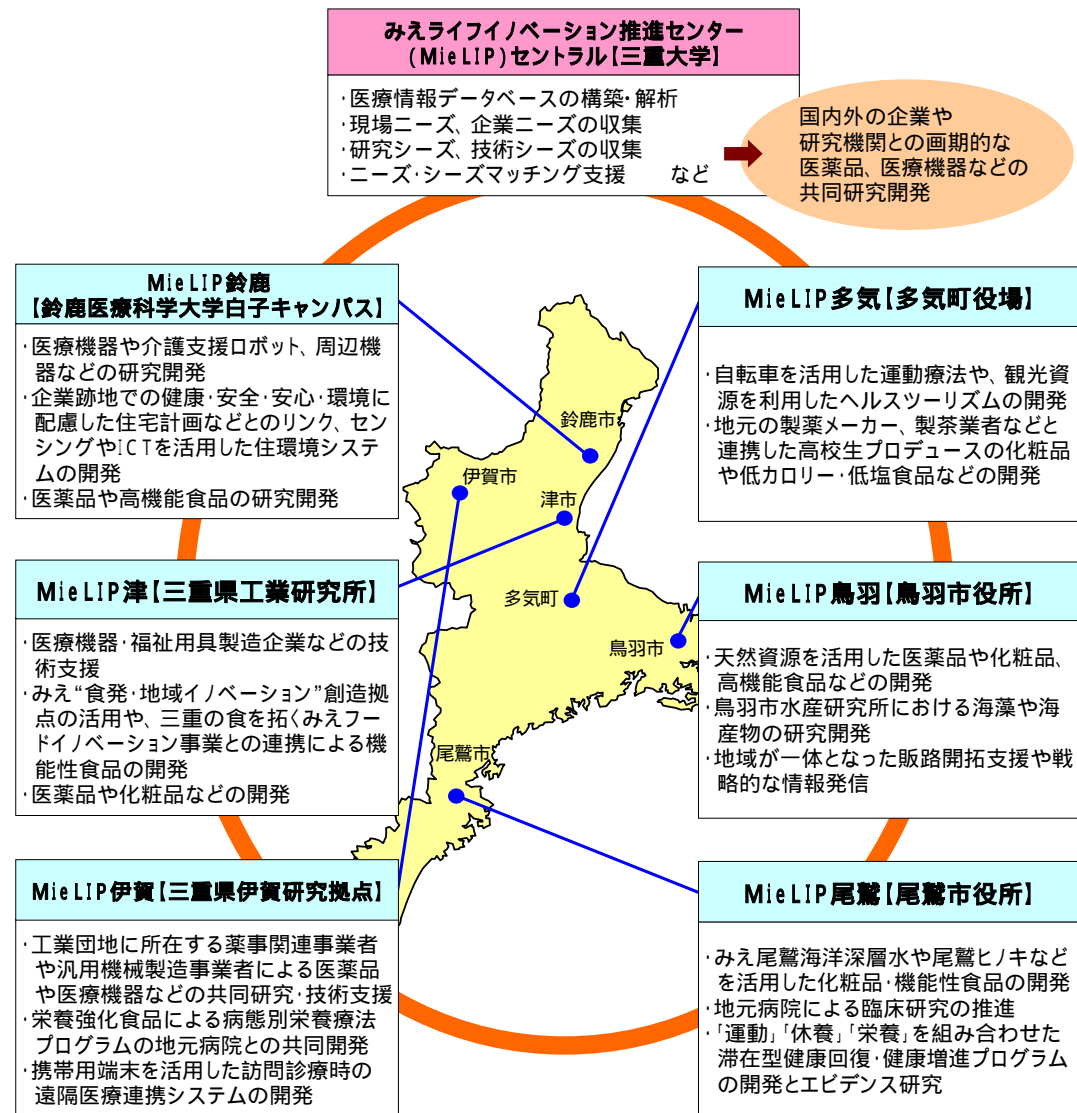


▶2012年7月、三重県の「みえライフイノベーション総合特区」が国の地域活性化総合特区に指定。

▶この構想において、県内に整備されている医療系ネットワークを活用し、患者の医療情報を統合した医療情報データベースを構築。これをもとに、共同研究や臨床研究を促進する体制づくりや、地域の特色を生かした産業創出や地域で必要とする人材の育成などを行う拠点として「みえライフイノベーションプラットホーム(LIP)」を整備。

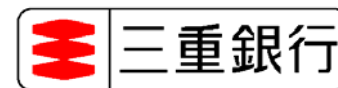
▶こうしたもと、画期的な医薬品の創出に加え、関連産業の企業立地や研究資金の投入、雇用の拡大など、三重県がライフイノベーション地域として発展していくことが期待される状況。

▶当行主力地盤の北勢地域では、2012年10月、「鈴鹿医療科学大学 医療福祉機器開発センター」内にMie LIP 鈴鹿が開設。同拠点では2013年9月、大学発ベンチャーが介護ロボットを活用したりハビリ事業や研究開発事業などを行う施設を開設。



(資料) 三重県健康福祉部資料をもとに三重銀総研作成

# 三重県内金融機関の状況



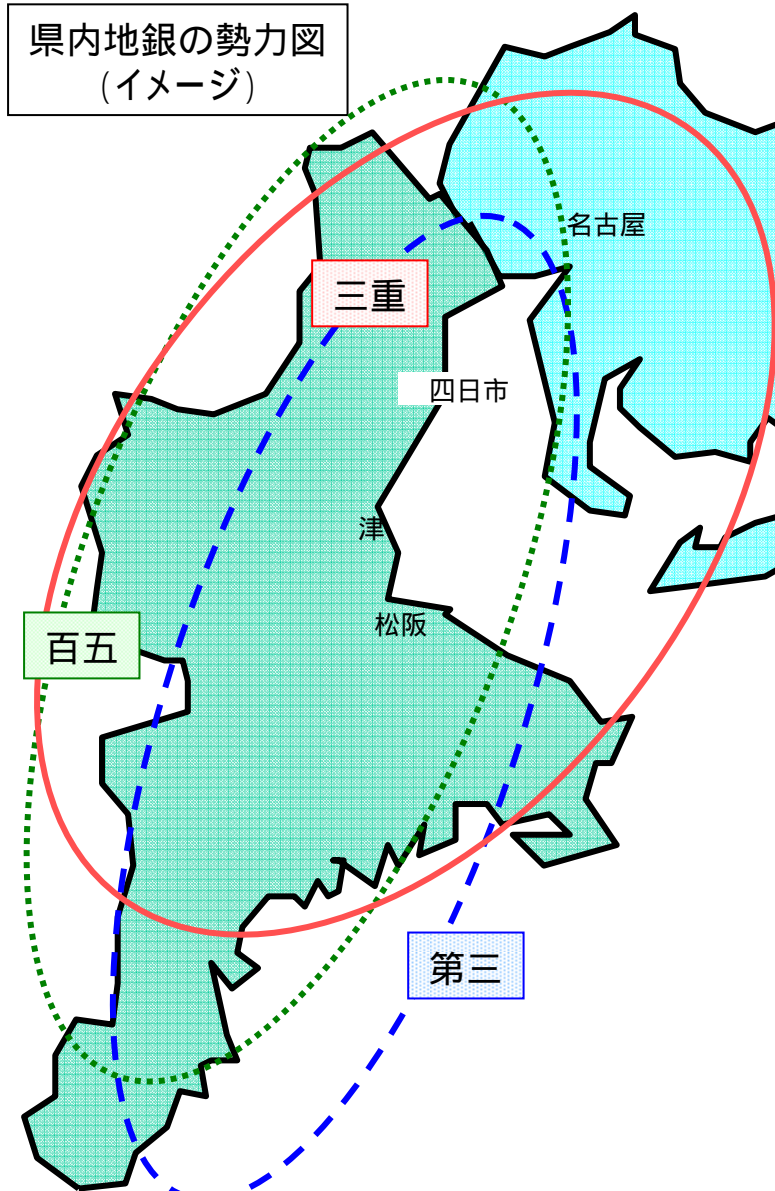
三重県内本店所在金融機関

(単位:億円)

	金融機関名	貸出金	預金	店舗数	業態	本店所在地
1	百五銀行	26,104	43,102	134	地銀	津市
2	三重銀行	12,512	16,216	75	地銀	四日市市
3	第三銀行	11,763	17,619	98	第二地銀	松阪市
4	桑名信金	2,152	4,229	26	信金	桑名市
5	北伊勢上野信金	1,913	4,001	32	信金	四日市市
6	三重信金	1,297	2,671	21	信金	松阪市
7	紀北信金	211	774	8	信金	尾鷲市
8	津信金	189	1,201	6	信金	津市
9	三重県職員信組	49	161	1	信組	津市

銀行は13年9月末、その他は13年3月末残高  
単位未満四捨五入

県内地銀の勢力図  
(イメージ)



## 地域別預金内訳(含むNCD)

(単位:億円)

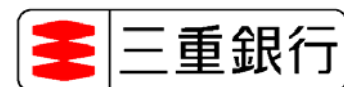
	11年9月末		12年9月末		13年9月末		前年比	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	増減	増減率
預金等	14,782	100.0%	15,580	100.0%	16,216	100.0%	636	4.1%
三重県	10,354	70.0%	10,948	70.3%	11,245	69.3%	297	2.7%
愛知県	2,959	20.0%	3,176	20.4%	3,280	20.2%	103	3.3%
東京	1,304	8.8%	1,253	8.0%	1,540	9.5%	286	22.9%
大阪	165	1.1%	203	1.3%	152	0.9%	51	25.1%

## 性格別預金内訳(含むNCD)

(単位:億円)

	11年9月末		12年9月末		13年9月末		前年比	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	増減	増減率
預金等	14,782	100.0%	15,580	100.0%	16,216	100.0%	636	4.1%
地公体	751	5.1%	760	4.9%	717	4.4%	44	5.7%
金融機関	420	2.8%	119	0.8%	133	0.8%	14	12.2%
一般法人	3,680	24.9%	4,418	28.4%	4,757	29.3%	339	7.7%
個人	9,932	67.2%	10,283	66.0%	10,609	65.4%	325	3.2%

# 貸出金内訳



## 地域別貸出状況

(単位:億円)

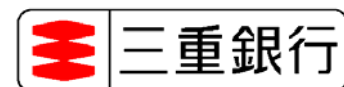
	11年9月末		12年9月末		13年9月末		前年比	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	増減率
貸出金	11,676	100.0%	12,080	100.0%	12,512	100.0%	432	3.6%
三重県	5,397	46.2%	5,362	44.4%	5,437	43.5%	75	1.4%
愛知県	2,895	24.8%	3,235	26.8%	3,511	28.1%	276	8.5%
東京	2,843	24.4%	2,891	23.9%	2,968	23.7%	77	2.7%
大阪	541	4.6%	591	4.9%	595	4.8%	4	0.7%

## 規模別貸出状況

(単位:億円)

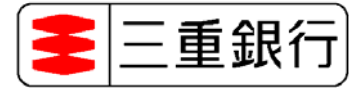
	11年9月末		12年9月末		13年9月末		前年比	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	増減率
貸出金	11,676	100.0%	12,080	100.0%	12,512	100.0%	432	3.6%
地公体	402	3.4%	372	3.1%	341	2.7%	31	8.2%
大企業	3,448	29.5%	3,547	29.4%	3,598	28.8%	51	1.4%
中堅企業	361	3.1%	350	2.9%	340	2.7%	10	2.9%
中小企業等向け	7,465	63.9%	7,811	64.7%	8,233	65.8%	423	5.4%
中小企業	4,295	36.8%	4,356	36.1%	4,473	35.8%	117	2.7%
個人	3,170	27.2%	3,454	28.6%	3,760	30.1%	306	8.8%
(個人ローン)	3,130	26.8%	3,413	28.2%	3,718	29.7%	304	8.9%

# 諸指標の推移

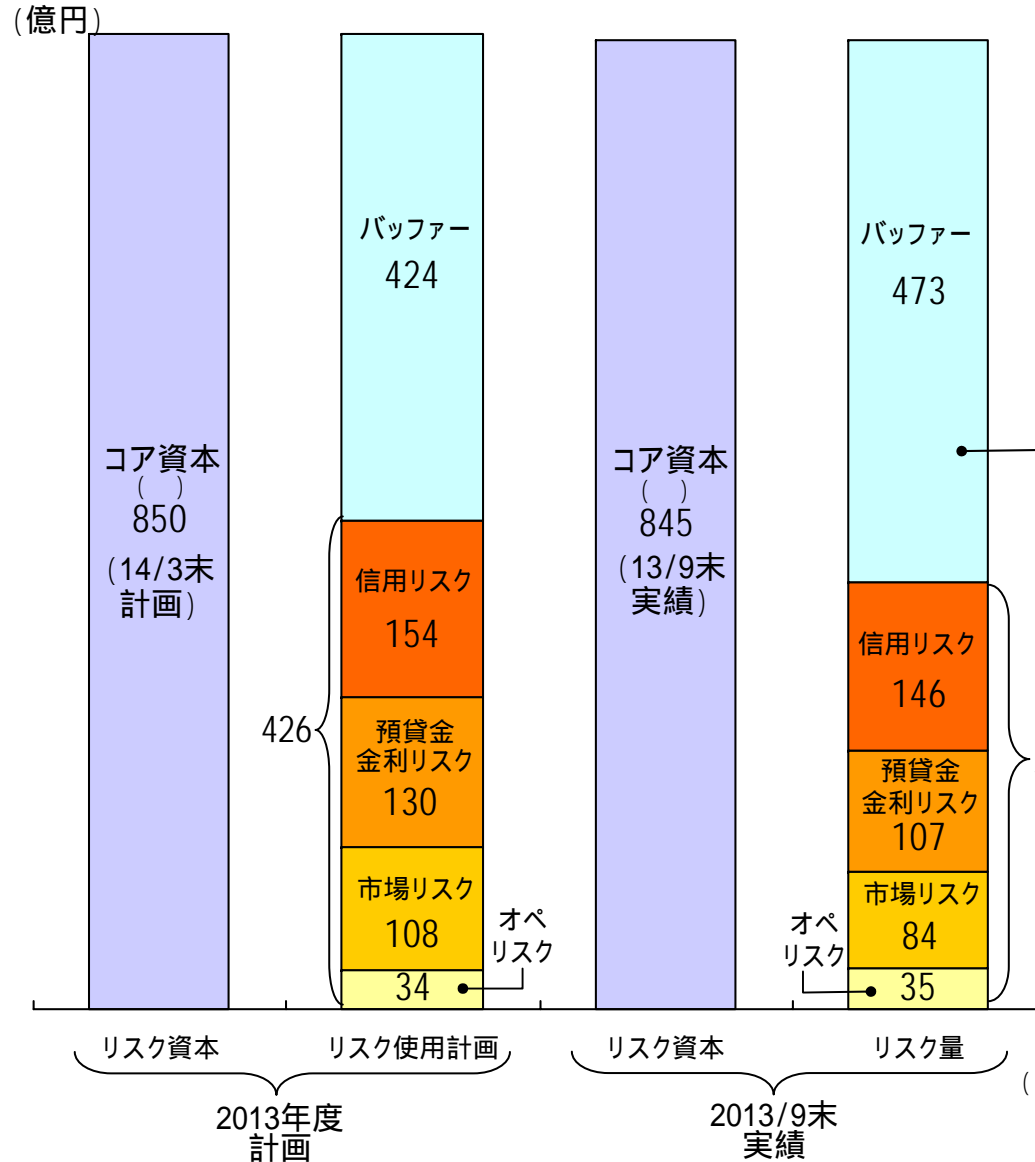


	11年9月中間期		12年9月中間期		13年9月中間期		前年同期比増減	
	全体	(国内)	全体	(国内)	全体	(国内)	全体	(国内)
資金運用利回 A	1.42%	(1.36%)	1.30%	(1.25%)	1.19%	(1.13%)	0.11p	( 0.12p)
うち貸出金利回 B	1.58%	(1.58%)	1.46%	(1.46%)	1.33%	(1.33%)	0.13p	( 0.13p)
うち有価証券利回	1.15%	(1.11%)	0.97%	(0.95%)	0.90%	(0.78%)	0.07p	( 0.17p)
資金調達利回	0.19%	(0.19%)	0.18%	(0.17%)	0.16%	(0.16%)	( 0.02p)	( 0.01p)
うち預金等利回 C	0.11%	(0.10%)	0.10%	(0.10%)	0.09%	(0.09%)	( 0.01p)	( 0.01p)
経費率	1.26%	(1.25%)	1.25%	(1.24%)	1.21%	(1.20%)	( 0.04p)	( 0.04p)
うち人件費率	0.65%	(0.64%)	0.64%	(0.63%)	0.61%	(0.61%)	( 0.03p)	( 0.02p)
うち物件費率	0.55%	(0.55%)	0.55%	(0.54%)	0.54%	(0.53%)	( 0.01p)	( 0.01p)
預金債券等原価 D	1.37%	(1.36%)	1.35%	(1.34%)	1.30%	(1.29%)	( 0.05p)	( 0.05p)
資金調達原価 E	1.43%	(1.42%)	1.41%	(1.40%)	1.34%	(1.33%)	( 0.07p)	( 0.07p)
預貸金利鞘 B-D	0.21%	(0.22%)	0.11%	(0.12%)	0.03%	(0.04%)	0.08p	( 0.08p)
総資金利鞘 A-E	0.01%	( 0.06%)	0.11%	( 0.15%)	0.15%	( 0.20%)	0.04p	( 0.05p)
預貸金利回差 B-C	1.47%	(1.48%)	1.36%	(1.36%)	1.24%	(1.24%)	0.12p	( 0.12p)
預貸率(平残)	75.89%	(76.20%)	76.57%	(76.83%)	76.10%	(76.27%)	0.47p	( 0.56p)
預証率(平残)	25.42%	(19.98%)	23.98%	(18.62%)	26.43%	(21.71%)	2.45p	(3.09p)

# 統合リスク管理



■ リスクをコントロールしつつ、資本を効率的に活用



	計測手法	信頼区間	保有期間
信用リスク	VaR	99%	240営業日
預貸金金利リスク	VaR	99%	240営業日
市場リスク	債券	VaR	99%
	純投株	VaR	99%
	投信等	VaR	99%
オペリスク	基礎的手法		

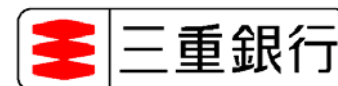
政策株	VaR	99%	120営業日
-----	-----	-----	--------

- ・政策株は、VaRが評価損益を超過した額をリスクと定義  
(政策株含み損益 - 政策株VaR) = +21億円 リスク量はゼロ
- ・政策株リスクと政策株以外の評価損益をバッファでカバー

バッファ	473
政策株リスク	0
政策株以外の評価差額	+40
<b>最終バッファ</b>	<b>513</b>

( ) 経過措置を考慮せず、完全適用したと仮定した場合のコア資本

# 自己査定 債務者区分遷移状況



債務者数ベース<sup>1</sup> (13/3月末 13/9月末 半年間の推移) (先)

上方遷移(ランクアップ)  
 下方遷移(ランクダウン)

		13/9月末									
		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他 <sup>2</sup>	全額返済	全額債権 譲渡・売却	全額償却
13/3 月末	正常先	4,256	36	0	12	4	0	297	297	0	0
	その他要注意先	43	826	2	24	1	1	40	40	0	0
	要管理先	0	1	19	0	0	0	1	1	0	0
	破綻懸念先	1	23	1	491	11	1	19	19	0	0
	実質破綻先	0	0	0	4	89	2	16	13	3	0
	破綻先	0	0	0	0	0	15	2	2	0	0

与信額ベース (13/3月末 13/9月末 半年間の推移) (億円)

		13/9月末									
		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他 <sup>3</sup>	全額返済	全額債権 譲渡・売却	全額償却
13/3 月末	正常先	7,130	31	0	2	0	0	183	183	0	0
	その他要注意先	66	604	16	23	0	0	30	30	0	0
	要管理先	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	破綻懸念先	0	10	0	208	5	0	1	1	0	0
	実質破綻先	0	0	0	6	29	4	7	2	5	0
	破綻先	0	0	0	0	0	20	1	1	0	0

(単位: 先、億円)

- 対象債務者は個人ローンを除く  
 ・13/3月末において各債務者区分に属していた債務者が13/9月末においてどの区分に属しているかを記入。  
 ・債務者数と与信額は、13/3月末時点のもの。13年度上期中の新規債務者、追加与信は含めない。
- 債務者ベース「その他」は、13年度上期中に債権全額を返済、譲渡・売却ないし償還した結果、債権残高がゼロになった先数。
- 与信額ベース「その他」は、各債務者区分の13/3月末時点(期首)の与信残高のうち、13年度上期中に減少した金額。

	12年度		13年度上期	
	先数	金額	先数	金額
上方遷移(A)	98	87	73	83
下方遷移(B)	244	158	94	81
(B) - (A)	146	71	21	2



大切なこと、大切に

